

着ない服や雑貨を寄付して、子どもたちに食事や教育の機会を。

衣料品等の郵送回収型寄付支援 キフル 実証開始！

環境にも社会にもやさしい、住み続けたい沿線を目指します

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，取締役社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は，株式会社 FASHION X（本社：東京都大田区，代表取締役：畠山 怜之，以下 FASHION X）との協業により，衣類廃棄による環境負荷軽減や継続的な社会貢献に向けた新たな取り組みとして，不要になった衣料品・雑貨を郵送で回収し，その収益の一部を国内の貧困児童への寄付・支援（食事・教育機会提供）につなげる新サービス「キフル」の実証実験を2025年12月19日から開始いたします。本取り組みは，京急電鉄が主催するオープンイノベーションプログラム「KEIKYU ACCELERATOR PROGRAM」発のスタートアップ企業との共創として実施するものです。

現在，国内では年間約50万トンの衣料品が廃棄されていると言われており，その多くがまだ利用可能な状態とされています。一方で，日本国内の子どもたちの約7人に1人が相対的貧困状態にあるとされ，十分な食事や学習環境が整わないケースが増えています。

京急グループでは，サステナビリティ重要課題の1つとして「地球環境保全への貢献」と「持続的に発展する沿線まちづくりの実現」を掲げており，2025年2月からは，京急沿線の駅やグループ施設に，専用の衣類回収ボックスを設置し，衣類廃棄による環境負荷軽減に向けた実証を行っています。この取り組みにより，2025年11月末までに，約32.5トンの古着を回収し，約49.1トンのCO2削減効果が確認され，環境負荷低減にも大きく寄与しました。

今回，本取り組みをさらに加速させ，こうした環境問題と社会課題を同時に解決し，誰もが手軽に社会貢献できる仕組みとして，郵送回収型の寄付支援サービス「キフル」を提供いたします。不要になった衣類や雑貨を郵送することで，国内の貧困児童7人分の食事寄付または1人分の教育支援（授業提供）が可能です。

また，寄付先の1つとして，京急沿線で「移動式子ども食堂」を運営するNPO法人あいだと提携し，一人一人の寄付を京急沿線で暮らす子どもたちの未来へつなげます。

京急グループとFASHION Xは，本取り組みを通して，地域や沿線住民と一体となった新たな資源循環のプラットフォーム構築を目指すとともに，誰もが身近に社会課題解決に貢献できる仕組みづくりを通じて，「環境にも社会にも優しい」多世代にわたって住み続けたい沿線まちづくりと持続的な沿線価値向上の実現を目指します。

詳細は別紙のとおりです。

着ない服や雑貨を郵送して
日本の子供たちに
7人分の食事寄付を。

大掃除前におうちスッキリ!

京急とFASHION Xは、不要になった衣服や不用品を回収するとともに、子どもたちに食事や教育の機会を寄付できる事業をスタートしました。

寄付先の一つとして、京急沿線で「移動式子ども食堂」を運営するNPO法人あいだと提携し、あなたの寄付が子どもたちに暮らす子どもたちの未来につながります。

郵送できるもの

- 衣類・タオル
- バッグ・財布
- 小物入れ
- ぬいぐるみ・フィギュア
- アクセサリー
- カバンなど

寄付の流れ

- WEBから寄付キットをご購入
- 届いた寄付キットに不要衣類を梱包して発送
- 送附した衣類を寄付が完了します

お問い合わせは
お電話かこちらから

050-3611-8576

株式会社 FASHION X 受付時間 9:00~20:00

FASHION X KEIKYU 京 急 電 鉄

ポスターイメージ

衣料品等の郵送回収型寄付支援サービス「キフル」の実証実験について

1. 概要

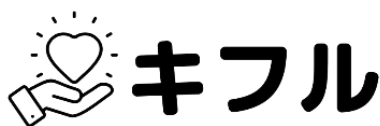
衣類廃棄による環境負荷軽減や持続型社会貢献に向けた新たな取り組みとして、不要になった衣料品・雑貨を郵送で回収し、その収益の一部を国内の貧困児童への寄付・支援（食事・教育機会提供）につなげる新サービス「キフル」の実証実験を、2025年12月19日から共同で開始いたします。

2. 郵送回収型寄付支援サービス「キフル」について

(1) サービス内容

利用者が不要になった衣料品や雑貨を専用サイトから申し込み、届いた回収キットに詰めて郵送するだけで完了するサービスです。回収された品物はFASHIONXが再流通・リユースを行い、得られた収益の一部は以下の支援に充てられます。

- ・国内の子ども食堂への食材提供
- ・国内の貧困児童への食事提供（1キットあたり7人分）
- ・国内の貧困児童への教育提供（1キットあたり授業1回分）



〈サービスロゴ〉



(2) 利用方法

- ①WEBサイトから、寄付キットを購入。
- ②届いた寄付キットに、不要品を梱包して発送。
- ③選択した支援先へ寄付が送られます。

(3) 申込方法

以下WEBサイトから申し込みください。

URL

https://fashionx.jp/kifuru?utm_source=poster&utm_medium=offline&utm_campaign=AJ

(4) 販売価格

4,950円（税込）／1キット

(5) 実証実験開始日

2025年12月19日（金）～

(6) サービスの特徴

イ. 自宅から手軽に寄付

専用サイトから申込みを行い、届いた回収キットに衣類・雑貨を入れて送るだけで手軽に参加できます。

ロ. 幅広いアイテムを回収

衣服だけでなく、おもちゃ、ぬいぐるみ、バッグ（ランドセルを含む）、靴、アクセサリー、生活雑貨など、多様な品目に対応。

ハ. 国内の貧困児童への寄付支援に特化

国内の子ども食堂への寄付、貧困児童への食事提供・教育支援に特化。

寄付キットの中身
（回収袋、集荷伝票、回収一覧）

ニ. 環境負荷を低減

廃棄されるはずだった品物が再流通・リユースされ、資源循環にも寄与。

(7) 回収ルール

- ・洗濯後の衣類をお出してください。(クリーニングは不要です。)
- ・回収できるものの詳細については以下のとおりです。

回収できるもの	<ul style="list-style-type: none">・綺麗な衣類（汚れ、破れ、シミ、ほつれ、ニオイはNG）・フェイスタオル、バスタオル・ネクタイ、スーツ・帽子・未使用&新品同様の靴・カバン、アクセサリ類・フィギュア、ミニカー、ぬいぐるみ等のおもちゃ・ランドセル・食器・絵本・インテリア・贈答品・未使用の文房具・カメラ、腕時計・小型家電（イヤホン・ドライヤー）
回収できないもの	<ul style="list-style-type: none">・未洗濯の衣類・汚れ・破れ・シミ・ほつれ・臭いがあるもの・中型大型家電・CD, DVD・家具・使用済み文房具・体育館シューズ、上履き・財布・使用済みの靴下・着物、帯・寝具類（枕、布団、座布団、ベッドマット）・敷物（絨毯・カーペット）・ビジネスバック・封筒

詳細は下記URLをご確認ください。

URL https://fashionx.jp/kifuru?utm_source=poster&utm_medium=offline&utm_campaign=AJ

京急沿線での衣類回収・循環の実証実験について

1. 概 要

京急沿線の駅やグループ施設等において、専用のボックスを設置し、衣類や古着の回収を実施しています。回収した衣類は、リサイクル品として転用していくほか、今後、沿線の様々な場所でリユース品として地域に循環させる仕組みをつくります。将来的には、様々なクリエイターなどと連携したアップサイクル商品の開発・販売や、駅前広場や地域交流拠点を活用したイベント等を行うことで、沿線地域における衣類・資源循環の新たなプラットフォーム構築を目指します。

2. 実証実験開始日

2025 年 2 月 27 日（木）～

3. 古着回収ボックス設置場所

- ①京急ストア平和島店 駐輪場横
- ②八丁畷駅前 Parkline 870
- ③BIG FUN 平和島 1 階入口前 ワンコインバス停横
- ④立会川駅改札外 コンコース
- ⑤京急蒲田駅改札内 「子育て応援ブース」横
- ⑥京急鶴見駅改札外 2 階みずほ銀行 ATM 裏

※設置場所は予告なく変更となる可能性があります。

※設置場所の詳細は、下記をご確認ください。

URL <https://fashionx.jp/service-1#keikyu>



〈ポスタービジュアル〉



〈古着回収 BOX 設置の様子〉

4. 株式会社 FASHION X について

FASHION X は、地域から回収した古着を、求められる形でリユース、リメイク、アップサイクルすることで、服を捨てることのない循環型社会を目指しています。また、古着を活用したあらゆる作品をクリエイターと協力し製作することで、人々の「欲しい」を生み出し続けます。

- (1) 会 社 名 株式会社 FASHION X
- (2) 代 表 者 畠山 怜之
- (3) 所 在 地 東京都大田区池上 7 - 2 - 7
- (4) U R L <https://fashionx.jp/>
- (5) 設 立 2023 年 7 月
- (6) 事業内容 地域での古着回収およびアップサイクル家具制作、リユース・リサイクル活用等

FASHION X

京急電鉄によるオープンイノベーションの取り組みについて

2017 年から「KEIKYU ACCELERATOR PROGRAM」を開始し、これまで計 3 回の本プログラムの開催を通じ、22 社の事業採択、京急グループと 17 件の実証実験、3 件の事業化、2 件の資本提携を実行するなど、スタートアップ企業との共創による新たな価値の創出に取り組んでまいりました。

2024 年 2 月にリニューアルし、新たな価値創出の中核となる「移動」と「まち創造」2つのプラットフォームの未来にむけた16のテーマを公開、スタートアップ企業をはじめとする多様な外部パートナーとの共創により新たな価値の創出を目指す常時募集・常時推進型のオープンイノベーションプラットフォームへと進化いたしました。リニューアル以降、9社の事業共創を実現しています。

URL <https://openinnovation.keikyu.co.jp/>



以 上